

廃炉に向けた「中長期ロードマップ」

中長期ロードマップ

「東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」（中長期ロードマップ）は、福島第一原子力発電所の廃炉を進めていく上で、基本的な考え方や主要な目標工程等を政府が定めたものです。2019年12月に5回目の改訂が行われました。

廃炉の完了時期

2041年～51年

主な工程の目標時期

使用済燃料の取り出し

1号機

2027～28年度

2号機

2024～26年度

3号機

2019年

2020年度内完了

5,6号機

1～3号機の進捗を考慮し着手

取り出し
開始時期

2031年内完了

4号機
取り出し完了
(2014年)

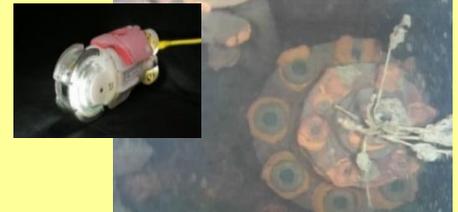


使用済燃料の取り出し

燃料デブリの取り出し

最初の号機の
取り出し開始
(2号機から着手)

2021年内



格納容器内調査

汚染水対策

汚染水
発生量

150m³/日程度に抑制→2020年内
100m³/日以下に抑制→2025年内

滞留水
処理完了

原子炉建屋滞留水を2020年末
の半分程度に低減
→2022年度～2024年度



陸側遮水壁
(凍土遮水壁)

廃棄物対策

処理・処分に関する
技術的見通し
→ 2021年度頃

ガレキ等の屋外一時保管解消
→ 2028年度内



固体廃棄物貯蔵庫建設

中長期ロードマップってどうやって作られているの？

廃炉作業の実施には、技術的な戦略が必要となります。そのため、廃炉の技術的な検討を行う「原子力損害賠償・廃炉等支援機構」が2015年から毎年「福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン」を取りまとめています。2019年の「技術戦略プラン」で提案された内容等を踏まえ中長期ロードマップの改訂（案）が作成され、2019年12月に廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議において、第5回目の改訂が了承されました。